

清里中一年生16人が「一般質問」

「生徒数も減っているし、人口も減っている。上越市の人口減少についてどう対策していますか」。トップバッターの江口幸志「議員」が登壇し、初めての質問を行いました。7月15日の午前のことです。

答弁したのは飯塚「市長」です。中村泰士「議長」に発言許可を求め、発言席に行く、「みなさん、いまの上越市の人口を知っていますか。だいたい一八万七千人です。みなさんが生まれる少し前の平成一七年の大合併のときには二十万人ほどでした。(中略)生まれてくる赤ちゃんの数がどんどん減っていること、高校卒業と同時に大勢の若者たちがこのまちを離れることが主な原因です。対策としては、安定した魅力ある仕事を子孫のまちにつくること、子育てするなら上越市だねと言ってもらえる環境づくり……」などと答弁しました。

この日は清里中学校の一年生全員が上越市議会本会議場に入り、一般質問をしました。議員席、議長席、議会事務局長席に座ったのはすべて清里中学校の一年生です。議長席の前の発言席に登壇して質問した生徒、議員席の前の方に設置してある質問席で再質問した生徒の合計は十六人にのぼります。市長や教育長、部長席などには現職の議員が座りました。

この日の一般質問は、交通安全対策、農林水産業での特産品対策、清里区の除雪対策、中山間地での会場の対策等多岐にわたりました。現職の議員の中では、「自分たちの周りをよく見てとりあげているね」「発言ははっきりとしているし、自分の考えによる提案もある。たいしたものだ」などの声が聞かれました。中学生による模擬議会は一昨年の秋の吉川中学校三年生に続いて二回目です。この模擬議会が生徒のみなさんの学習に役立つだけでなく、今後、身近な政治に参加していく契機になっていくといいですね。



除雪中の事故（原因別の被害程度） 2021年3月31日現在

事故原因	人数	内訳			備考
		死亡	重傷	軽傷	
屋根等からの転落	25人		9人	16人	
家屋屋根からの落下	(18人)		(7人)	(11人)	はしご9人
小屋・作業所・車庫等の屋根からの落下	(3人)		(2人)	(1人)	はしご1人
その他（トラック等の荷台・垣根の除雪作業）	(4人)			(4人)	はしご4人
除雪作業中の転倒	11人		5人	6人	
除雪機の事故	8人	2人	4人	2人	
屋根等からの落雪	6人		2人	4人	
側溝・水路への転落	4人	2人		2人	
その他（疾病、スコップ等による怪我）	6人	1人	1人	4人	
合計	60人	5人	21人	34人	

道路除雪の遅れなどを分析、対策提言

災害対策特別委員会が20日行われました。今回は行政側が昨冬の大雪災害対応の検証の中間報告を行い、委員が道路除雪や要援護世帯の除雪支援、一斉雪下ろしなどについて質問を展開しました。

今回の中間報告は、「昨冬のような大雪が今後もあり得るとの認識」で、市の対応を振り返り、今後の対策を定

めていくためのものです。検証の対象となった項目は、道路除排雪、公共交通、企業活動、ごみ収集、停電被害等12にのぼります。

今後、市は関係機関と検討を重ねたうえで、10月下旬までには最終報告書をまとめるとしています。

今回の委員会での具体的な議論の中身は続報します。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.716 2021年7月25日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症患者発生状況

(7月16日現在)

PCR検査実施件数 12,785件(前週+290)
 管内陽性件数 144件(前週同数)
 上越市内陽性件数 125件(前週同数)
 陽性率 1.126%(前週1.152%)

日本共産党上越市議会議員団

市政報告会

7月29日(木) 18:30~

市民プラザ第2会議室